

「安倍倒せ」5700人の訴え

前進

週刊

発行所 前進社
編集・発行人 城戸通隆
本社 東京都江戸川区松江
1-12-7 振替 00190-0-88857

ホームページ
<http://www.zenshin.org/>

号外

通常号6ページ

本体300円+税
購読料(送料別)

開封/密封
1ヵ月 1512円(170/416)
6ヵ月 9072円(1020/2496)
1年 18144円(2040/4992)

神奈川支社 横浜市南区高砂町1-10-38
振替00220-8-75016
関西支社 大阪市天王寺区寺田町2-1-19
中国支社 広島市南区宇品西1-2-38
振替01360-5-30027
九州支社 福岡市博多区半道橋1-7-22
振替01700-6-105428

戦争反対！民営化うち破れ！

11・2 労働者大集会

反帝国主義・反スターリン主義の旗のもと
万国の労働者団結せよ！
革命的共産主義者同盟
全国委員会

革命的共産主義者同盟
綱領草案
華共同は何をめざすか
700円+税
発行/前進社



圧倒的な高揚感で集会をかちとり、「戦争と民営化の安倍政権を打倒するぞ」と団結を固めた(東京・日比谷野音公園)

動労総連合を全国につくろう



11・2全国労働者総決起集会は東京・日比谷野音公園に5700人を結集して圧倒的に高揚した。集会は、1047名解雇撤回と民営化・外注化・非正規化阻止を軸に国鉄決戦に勝利し、戦争・改憲と原発再稼働の安倍政権を打倒する熱意と決意にあふれた。韓国、アメリカ、ドイツの労働者を迎えての集会は、国境を越えた国際連帯の力を示し、全国の職場での資本と政府が力強く報告され、階級的労働運動再生の展望が開かれた。「全国に動労総連合を」の闘いが始まった。集会後のデモは都心を揺るがし、安倍打倒のコールが響きわたった。(詳細は本紙次号)

3労組が国鉄闘争の決意

集会を呼びかけた3労組の各代表が発言した。全国金属機械労組連合会の中村吉政委員長は、国鉄1047名解雇撤回闘争に勝利しなければ不当労働行為はやりやう放題になると述べ、国鉄闘争全国運動が今日まで国鉄闘争を継続してきたことの意義を強調した。全日建運輸連帯労組関西地区生コン支部の西山直洋執行委員長は、「安倍政権に対し労働者の団結力を見せつけなければならぬ。ともに団結し勝利しよう」と訴えた。動労千葉の田中康宏委員長は、「1047名解雇撤回をかちとり、国鉄分割・民営化に決着をつける。JRの外注化・非正規化の攻撃を粉砕する。安倍を打倒し戦争への道を止める」と鮮明な決意を述べた。三里塚芝山連合空港反対同盟の市東孝雄さん、「許すな改憲！大行動」代表呼びかけ人の鈴木達夫弁護士、「星野さんをとり戻そう！全国再審連合会」の星野暁子さんが連帯あいさつ。国鉄1047名解雇撤回へ、動労千葉の羽廣憲さんが最後まで闘いぬく決意を述べた。

現場から熱い闘いの報告

現場から東京西部ユニオン鈴木コンクリート工業分会の吉本伸幸書記長、大阪・高槻の植木団地労組を始め、教育労働者、解雇撤回を闘う沖縄の日本IBM・ビジネスサービス労組、愛媛県職労、郵政非正規ユニオン、小竹運輸グループ労組、医療労働者、国鉄闘争全国運動・新潟、そして全学連の斎藤都真委員長が闘いを報告した。集会ではさらに「集団的自衛権行使・憲法改悪反対労組声明」と「セウォール号惨事に関する決議」を採択した。参加者は解雇撤回・安倍打倒のコールを響かせて新橋・銀座・東京駅の都心へデモに出た。沿道からは熱い視線が注がれ、声援が送られた。

集会後、呼びかけ3労組と韓国、アメリカ、ドイツの労働者を先頭に、都心デモにうって出た(千代田区)

JR外注化粉砕 動労千葉の長田敏之書記長がJRのてららめな外注化を必ずつちやくと戦闘宣言



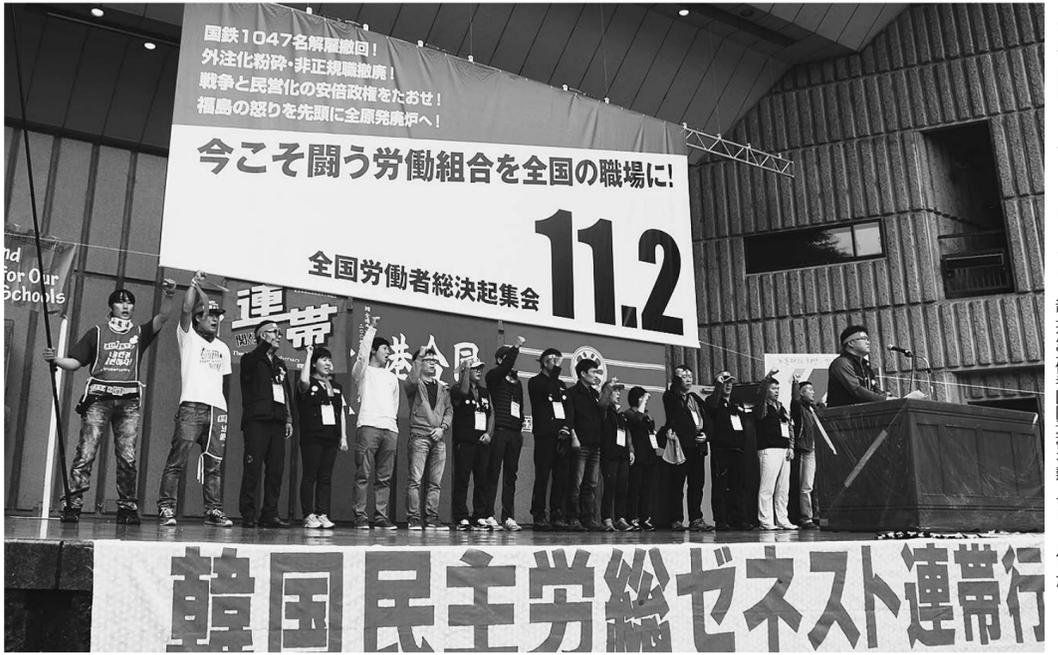
国鉄解雇撤回

動労千葉議団と4・9政治和解を拒否した国労闘争団が勝利の日まで闘つと決意を表明

国際連帯で世界を変えよう



福島と連帯し全原発廃炉へ 放射能汚染、健康被害への怒りに燃えてデモをする福島をはじめ被災地の人びと



韓国民主労総

民主労総ソウル本部のヒョン Chol 副本部長が労働者国際連帯を熱くアピールした

前進社 国賠判決

東京都(警視庁)に賠償命令

詳細は本紙次号



城臺美彌子さん (NAZEN) 「改憲と戦争への道を進む安倍政権を許さない」



滞日・在日外国人労働者 多くの難民申請者・仮放免者たちが「生きさせろ」「戦争反対」を訴え



セシリー・マイアトさん (ロサンゼルス) 「ユニオンパワー・グループが労組執行部を握りました」と報告

11・29 星野全国集会 11月29日(土)午後2時開会 四谷区民ホール(新宿区内藤町87) 主催/星野さんとり戻そう! 全国再審連絡会議

12・6 国会デモ 12月6日(土)午後1時集合 2時デモ出発/新橋駅SL広場 主催/全日本学生自治会総連合 (斎藤郁真委員長)

われわれは7月1日に強行された集団的自衛権行使を認める閣議決定を絶対に許さない。「国権の発動たる戦争は永久にこれを放棄する三国の交戦権はこれを認めない」と定められたはずの憲法は踏みにじられ、戦争への歯止めが外れようとしている。われわれは歴史の分岐点に立った。戦争への道を阻止しなければならぬ。それはどんな困難を伴おうとやむを得ない。福島では人類が経験したことのない大規模な放射能汚染が拡大しているのに、真実を隠し、200万国民が見殺しにされている。沖縄では新たな米軍基地建设が始まろうとしている。日米防衛協力の指針が改定され、来春の通常国会では無数の関連法や治安維持法の成立が画策されている。何もかもが戦争をすることを前提に組み替えられようとしている。安倍政権を戦争に突き動かしているのは資本主義体制の出口なき危機だ。世界恐慌が生み出した深い危機がイラクで、シリアで、ウクライナで、パレスチナで、そして東アジアで戦争への衝動を生み出している。30年余り猛威を振るった新自由主義攻撃は、限度をこえた社会的崩壊を生み出し、怒りの声は社会の隅々まで積みあがっている。今こそ団結を取り戻そう。労働組合をよみがえらせよう。労働者の闘いこそが戦争を止める力だ。資本家たちが引き起こす強盗戦争を止めるために全世界の労働者が固くスクラムを組もう。労働者の国際連帯をかけて改憲と戦争に突き進む。反動安倍政権を打倒しよう。 2014年11月2日

集団的自衛権行使・憲法改悪に反対する労組声明

(抜粋)

安倍首相は、「安全保障環境は変化した」「自由や幸福追求の権利、国民の生命が脅かされていくのか」「必要最小限の武力行使は憲法上許される」と言って、集団的自衛権行使を正当化する。しかし、彼らが守ろうとしているのは貪欲(どん欲)な資本家たちの利益でありその国家だ。そのために血を流せと言っているのだ。そのために青年を戦場に送ろうとしているのだ。「真実など見ると沈黙しろ」と特定秘密保護法を制定したのだ。そして、財界の念願の要求に応じて武器輸出三原則を見直したのだ。すべての戦争は「自衛」の名において始まる。かつて歩んでしまったアジア諸国への侵略戦争がいかなる経過をたどって泥沼のように拡大し、どれほどの惨禍を民衆に強制したのか。安倍首相はその戦争を崇高な行為として賛美し、再び国家主義や排外主義、領土問題をあおって、憎悪と恐怖を時代の精神に仕立てあげようとしている。「戦争をする国」への転換、外への侵略戦争は、内に向けた労働者への戦争とひとつのものだ。現に、社会丸ごとの民営化、総非正規化や解雇自由化、派遣法大改正、国家戦略特区の指定など、労働者の権利と未来を打ち砕く攻撃が加えられている。特に教育と報道が激しく攻撃され、「貧困」による徴兵(若者たち)にしかかろうとしない。福島では人類が経験したことのない大規模な放射能汚染が拡大しているのに、真実を隠し、200万国民が見殺しにされている。沖縄では新たな米軍基地建设が始まろうとしている。日米防衛協力の指針が改定され、来春の通常国会では無数の関連法や治安維持法の成立が画策されている。何もかもが戦争をすることを前提に組み替えられようとしている。安倍政権を戦争に突き動かしているのは資本主義体制の出口なき危機だ。世界恐慌が生み出した深い危機がイラクで、シリアで、ウクライナで、パレスチナで、そして東アジアで戦争への衝動を生み出している。30年余り猛威を振るった新自由主義攻撃は、限度をこえた社会的崩壊を生み出し、怒りの声は社会の隅々まで積みあがっている。今こそ団結を取り戻そう。労働組合をよみがえらせよう。労働者の闘いこそが戦争を止める力だ。資本家たちが引き起こす強盗戦争を止めるために全世界の労働者が固くスクラムを組もう。労働者の国際連帯をかけて改憲と戦争に突き進む。反動安倍政権を打倒しよう。 2014年11月2日